



## チマサンチュの育て方

Q. 焼肉を包んで食べるチマサンチュの育て方を教えてください。

A. チマサンチュは球をつくらないレタスの1種で、プランター栽培に適します。

### <ポイント>

春作は青葉種、秋作は赤葉種が適します。定期的な肥料やりとこまめな水やりで柔らかい葉を収穫します。(1袋—350粒。315円)

### 1 容器と用土

標準プランターでよくできます。用土も標準のものが使えます。古土を使うときは苦土石灰を20gくらい加えます。

### 2 タネまき

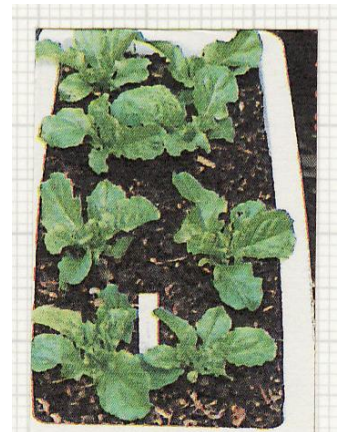
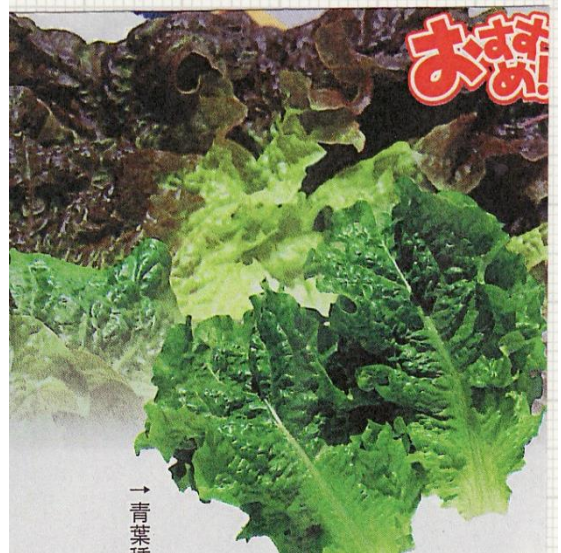
春まきは3月下旬~4月下旬にまきます。これ以上遅くなると夏の高温でトウ立ちします。

直まきするときは、株間を13cmあけて、10粒くらいずつ点まきして、最終的に1本に間引きます。

発芽に光が必要なので、覆土はタネが薄く隠れる程度にします。

### 3 肥料と水やり

元肥のほかに、追肥を定期的に施して元気に育てます。乾かすと葉が固くなりますから土を乾かさないようにこまめに水をやります。



容 器	株数	まき方	1回の肥料
標準プランター	9	2条	20g

定植後に元肥、以後20日ごとに3回追肥。ときどき液肥を施して株を若返らせます。

### 4 収 穫

株が広がり、十分に葉数が増えてきたら収穫します。葉の付け根から掻き取る事が大切です。

葉の再生力を維持するために、株の芯から5~6枚の葉を残しておきます。



## イチジクの鉢植え

Q. 鉢植えでイチジクを育てたいと思います。植え方を教えてください。

A. 3月に鉢植えし、30cmくらいで切りつめ、枝を3本ほど伸ばします。

### <ポイント>

イチジクは日当たりがよく、風当たりが少ない適地では育てやすい家庭果樹です。秋果専用の品種を選びます。

#### 1 品種

ネグロラルゴ：小柄で中果(50g)、濃紫色で甘味が強い。

セレスト ブルー：小果(20g)ながら、耐寒性が強く、早生で実つきがよい。

柘井ドーフィン：寒さに弱く暖地向き。大果だが甘味は少ない。

#### 2 容器と用土

6~8号のスリット鉢がよい。用土は赤玉土(6)、腐葉土(3)、川砂(1)の混合。

#### 3 植え方

① 鉢穴をふさぎ、鉢底にゴロ土をしきります。

② 苗木の太い根は鉢に入る程度に切りつめ、細根は鉢の中に回して入れます。

③ 鉢土はゴロ土のうえに5cmくらい入れ、苗木を下に押し加減に置き、鉢土を入れて植えつけます。

④ 鉢の高さと同じくらいの高さに剪定し、水を与えます。

#### 4 肥料

3月に油粕の玉肥を3~4個施します。

#### 5 整枝、剪定

主幹の3ヶ所から毎年1~2本の結果枝を出すように、元の2芽を残して切ります。

#### 6 摘果

枝に1~2果を残して早めに摘果します。

#### 7 植えかえ

1年おきに植えかえます。

